

秘

電報

参考 次長、次官

通電先 成

光電第一三三三號

昭和一九、六、二七

六三九〇一〇一號

六三九〇一〇一號

火機關

「T」ヨリ比島國大統領「ジョイス・ローレル」宛左記電報方依頼アリタルニ付然ルベク取計ヒ相成度自由印度假政府及印度國民軍ニ代リ予ハ我が國民軍用トシテ戦艦及皮帶ヲ寄贈下サレタル閣下ノ寛大ナルニ對シ滿腔ノ謝意ヲ表ス予ハ上記ノ寄贈ハ我が軍艦並ニ政府總テノ支持者ニ依リ感謝セラレアルト共ニ深キ肝銘ヲ與ヘタルコトヲ閣下ニ通報スルハ欣快ニ感ハザル所ナリ

「スハス・サヤンドラ・ボース」

日誌

至急電報

通電先 次長、次官

球參電第一三三三號

ハハ、ニシシシシ

球部隊參謀長

昭和一九、六、二七

西諸島特ニ宮古島地區ノ水不足ノ現況ニ
軍練下ニ入レルコトニ諸不明中隊ヲ速カ
地ニ進出セシメラレ度

(終)

至急秘親展

至急秘親展

昭和一九、八、二二

至急秘親展

電報 照和一九、八、二二
K111-1480 號 K111-1480 受付
K111-0465 番 K111-1480 提出

次長 宛

球部 隊 參謀 長

陸軍部 第一〇一號

一、十日九時三十分—十時(十五分毎ニ三四)大東島西海岸ニ碇泊中
ノ機帆船二(「セイ洋」丸、護國丸)敵潜水艦ノ雷撃ヲ受テ沈没
ス

ニ(1)人員 行方不明三、重傷一、其ノ他輕傷若干

(2)輸載品 島民用食糧、海軍建設資材(枕木千本)、一部ノ日用

品ヲ除ク全部海没ス

尙揚陸施設ノ一部破壊セラレ

(終)

至急秘親展

至急電報

通電先 次長、兵總、兵行本

参考 臺灣軍、第一船輪司

球兵電第一四二號

昭和一九、八、一二
一〇七三〇受付
一〇七三〇提出
一〇四八八著
球 部 隊 參 謀 長

七月二十七日陸軍密第七一六〇號ニ依ル黄色藥六〇四應至急送付ア
リ度、之ヲ輸送狀況承リ度

別ニ球兵電第一一五號（電註。七月二十六日配布）ニ依ル八六五應
ヲ申請セリ。其ノ中既受領ハ六二應ニ過キマ
現下ノ逼迫セル情勢ニ鑑ミ緊急輸送ヲ強望ス

（終）

電報

八一五〇發
八一三〇著
八一三〇〇〇受行
八一三〇〇〇提出

昭和一九、八、一二

次長宛

球部隊參謀長

球參電第一一二三號

參電第六七二號（電註、兵力増強ノ件）返

一 球參電第一〇七八號（電註、八月八日配布）ノ趣旨ハ「ちりりつ

ぶ」ニあり、地區ノ「かた」主力及「かた」ニ

テハ兵力不十分ナルニ付寧ロ「かた」ニ近接スルニ大隊ヲ

該方面ニ轉用トセラレ、意見ヲ述ベシモノナリ

ニ若シ「ちりりつ」ハ「かた」地區別ニ歩兵二大隊（獨立歩兵第

二〇七二一大隊ノ如シ）増加ノ計畫アラバ貴電第六七二號（電註、兵

力増強ノ件）ノ二大隊ハ貴計畫ノ通「かた」ニ増加相成度

希望ス

三 前第一、第二項ヲ認メラザル場合ニ於テモ「かた」地區ノ

兵力増加ハ貴決意ノ漏實施方希望ス

（終）

日誌用

至急電報

八一三〇八四〇發

昭和一九.八.一三

八一三〇八四〇受付

球部除參謀

參考 次長・運輸通信長官
通電先 臺灣軍・船司・第一船渠司
球參電第一一三七號

南西諸島海域ニ於ケル敵潜水艦ノ活動ハ近時急激ニ激化シ補給遮

断ノ重點ヲ今ヤ逐次當方面ニ指向シツツアルガ如ク判断セラレ

五日・徳之島附近ニテ官古丸

七日・同シク第十一櫻丸

九日・同シク「ボウコー」丸

六日薩摩半島沖ニテ昭南丸撃沈セラレ更ニ十日大東島ニ於テ似帆

日誌用

船二隻ニ對シ雷撃七本ニ依リ沈セラレタルガ如シ
敵ノ潜水艦攻撃ガ小舟艇ニ對シテモ指向セラレアル事實ハ今後ニ
於ケル船舶保安上嚴戒ヲ要ス。之ガ爲速カニ中央ニ於テ海空ヨリ
スル海上護衛ノ質的量的強化ニ關シ劃期的施策ヲ斷行セラレ度具
申ス
現下ニ於ケル護衛兵力ハ極メテ弱體ニシテ要求ヲ充足シ得ルコト
遙カニ遠ク憂慮ニ堪ヘザルモノアリ
(終)

343 ~ /

昭和一九八。一三

電報
ハニニ1000發
ハニニ1100受付
ハニニ1110提出

次長宛
球部隊
參謀長

球參電第一一三九號

大陸命第一一〇〇號要旨受領ス

(終)

佐田 佐田 佐田 佐田 佐田